

令和8年4月28日

お知らせ

課名	生活衛生課
担当	村上・前川
内線	3507・3510
直通	226-7338

ふぐによる食中毒が発生しました

1 概要

令和8年4月22日（水）午前9時頃、岡山市内の医療機関から岡山市保健所へ「ふぐを家庭で調理して食べた後に、食中毒症状を呈している者が入院している。」との通報がありました。

備前保健所が調査した結果、患者の喫食及び発症状況から、ふぐによる食中毒であると判明しました。なお、患者の容態は快方に向かっています。

患者：玉野市在住 1名（80代女性）

症状：四肢の麻痺、呼吸困難

状況：・4月21日（火）午後6時頃、知人からもらったふぐを自宅で自ら調理し、喫食
・喫食した約1時間後に発症し、岡山市内の医療機関へ救急搬送後、入院

2 ふぐによる食中毒の予防について

全国では毎年、ふぐによる食中毒が発生し、死亡例も報告されています。

ふぐの素人調理は絶対にやめましょう。

【過去10年間のふぐによる食中毒の発生状況（H28年～R7年）】

岡山県 事件数 7件 患者数 8名 死者数 0名

全国 事件数 137件 患者数 181名 死者数 3名

【お願い】県民に対して啓発願います。

○ふぐ中毒は、麻痺による呼吸困難を起こし、致死率が極めて高いことが特徴です。

○ふぐ中毒の原因物質であるテトロドトキシンは、ふぐの肝臓や卵巣などの内臓、ふぐの種類によっては皮、筋肉にも含まれ、調理による加熱でも分解されず、無毒になることはありません。

○過去にも素人がふぐを処理した際、有毒部位の除去が完全でなかったため、ふぐ中毒が起きた事例があります。

ふぐの素人調理は大変危険ですので、絶対に行わないようにしてください。

【参考（岡山県内の食中毒の発生状況）】

1 今年（1月から今回までの事件を含む）の発生状況	10件	313名（うち死者0名）
	【うち岡山市	1件 34名（うち死者0名）】
	【うち倉敷市	1件 24名（うち死者0名）】
2 昨年（1月～12月）1年間の発生状況	9件	211名（うち死者1名）